

第二回日本医薬品等ウイルス安全性研究会シンポジウム
(最新の医薬品ウイルス管理技術の実際とウイルス危機管理)

2003年5月23日(金)

北里大学生命科学研究所 薬学部コンベンションホール

東京都港区白金5-9-1 (バス路線: 渋谷-恵比寿-田町, 北里研究所)

(地下鉄: 日比谷線の広尾駅より徒歩10分、南北線、都営三田線の白金高輪駅より徒歩15分)

8:30 受付け開始

9:00 (総会、規約承認、その他)

小長谷昌功 (代表幹事)

セッション1 製造工程におけるウイルス除去法 (座長: 小田昌宏、曲田純一)

9:30 Nanofiltration 導入による医薬品のウイルス安全性確保 吉成河法吏 (旭化成)

10:00 Validation and Scale-Up Concepts of Membrane Adsorbers

for Virus Removal and Purification

Miyako Hirai (ザルトリウス)

セッション2 生物製剤医薬品のウイルス管理とバリデーション (座長: 布施 晃、中山哲夫)

10:30 血しょう分画製剤のウイルスに対する安全性 寺野 剛 (化血研)

11:00 不活化ウイルスワクチンの製造について

中山幹男 (BMSA)

11:30-11:50 総合討論

11:50 ~ 12:40 昼食

セッション3 遺伝子治療におけるウイルス安全性 (座長: 佐藤雄一郎、谷 憲三朗)

12:40 大学での先端医療研究におけるウイルス安全性: 実情と問題点 佐藤雄一郎 (名古屋大学)

13:10 遺伝子治療における安全性検討: レトロウイルスベクターを用いた

ex vivo 遺伝子治療での経験から

谷 憲三朗 (九州大学)

特別追加公演 (座長: 小長谷昌功、西畑利明)

13:40 バイオ医薬品のウイルス安全性確保と薬事法改正の動向 鹿野真弓 (審査センター)

セッション4 最近のウイルス学の話題1 (座長: 喜田 宏、菅谷憲夫)

14:10 新型インフルエンザ対策 喜田 宏 (北海道大学)

14:40 インフルエンザの予防と治療 菅谷憲夫 (けいゆう病院)

15:10 ~ 15:30 休憩

セッション5 最近のウイルス学の話題2

(座長: 山内一也、吉川泰弘)

15:30 BSE (牛海綿状脳症) と食品・医薬品安全性の確保 品川森一 (動衛研)

16:00 SARS (重症急性呼吸器症候群) 谷口清州 (感染研)

16:30 コロナウイルスの性状 山田靖子 (感染研)

17:00-17:30 総合討論

主催: 日本医薬品等ウイルス安全性研究会 (会長: 山内一也)

協賛: 日本PDA、北里大学

★シンポジウム参加費 (当日受付): 会員 6000 円、非会員 9000 円 (年会費を含む) (官学は 1000 円)

研究会年会費: 3000 円

★問い合わせ: 北里研究所メディカルセンター病院医療環境科学センター、鈴木達夫 (事務局長)

担当: 岩片 潤 (iwakata-j@kitasato.or.jp) TEL: 03-5791-6179 FAX: 03-3444-5499